

# 島田市誕生10周年

—— みんなでひろく・しまだの明日 ——

平成 17 年、旧島田市と旧金谷町が合併し、新しい島田市が誕生しました。さらに、平成 20 年には旧川根町が加わる 2 段階の合併を経て、島田市は一つのまちとして、その礎を築いてきました。そして平成 27 年 5 月 5 日、島田市は誕生 10 周年という節目を迎えました。伝統を次世代につなげ、新たな価値を創造する時代の幕開けです。

☎地域づくり課 ☎ 36-7197

## ■ 島田市 10 年のあゆみ ■

10 年の間に、富士山静岡空港と新東名高速道路が完成し、それに伴う周辺基盤整備を行ってきました。また「しまだ大井川マラソン in リバティ」や「SL フェスタ」など、地域の特性を生かした新たなイベントの開催により、島田市の魅力を内外に発信してきました。

- ▶ 2005 年 (平成 17 年) ●新島田市 誕生 (5 月)
- ▶ 2006 年 (平成 18 年) ●田代環境プラザ 完成 (3 月)
- ▶ 2007 年 (平成 19 年) ●「帯桜」命名式 (2 月)
- ▶ 2008 年 (平成 20 年) ●川根町との合併 (4 月)  
● FM 島田 開局 (10 月)
- ▶ 2009 年 (平成 21 年) ●伊太和里の湯 オープン (4 月) ●富士山静岡空港 開港 (6 月)  
●第 1 回 しまだ大井川マラソン in リバティ 開催 (10 月)
- ▶ 2010 年 (平成 22 年) ●ローズアリーナ オープン (5 月)
- ▶ 2011 年 (平成 23 年) ●SL フェスタ 開催 (10 月)
- ▶ 2012 年 (平成 24 年) ●全国茶サミット静岡大会 in 島田市 開催 (2 月)  
●新東名高速道路 開通 (4 月)  
●おびりあ オープン (7 月)
- ▶ 2013 年 (平成 25 年) ●ゆめ・みらい百人会議 発足 (10 月)
- ▶ 2014 年 (平成 26 年) ●川根温泉ホテル オープン (7 月) ●平和都市宣言 制定 (8 月)
- ▶ 2015 年 (平成 27 年) ●市の花・木・鳥 制定 (2 月) ●新市誕生 10 周年記念事業 実施 (4 月～)

生後間もなく広報しまだ平成 17 年 6 月 1 日号 (創刊号) の表紙に登場してくれた 4 人も、10 歳を迎えました。(将来の夢・右上から時計周りに)

◎ 桜井聖也さん (金谷猪土居) 「プロ野球選手」

◎ 沖大理さん (金谷根岸町) 「プロサッカー選手」

◎ 岡本大誠さん (道悦二丁目) 「ゲーム・クリエイター」

◎ 松原星七さん (野田) 「プロ野球選手」



私たちの先輩は、戦後復興や経済発展のために、がむしゃらに働いてくれました。そのおかげで島田市も発展し、私たちは恵まれた地域で働き、生活することができます。現役を引退した今、お世話になった地域のために役に立てればと、自治会活動として実行委員会に参加しています。

大井川や茶畑など、島田市の代名詞といえる風景を守ること大切ですが、人柄の温かい住民自体も財産。価値観が多様化した現代でも、それは変わらないはずです。

会議では、若者が真剣に故郷のことを考えていることが分かりました。現代の価値観は多様化していますが、このまちの若い世代には、目先の利害にとらわれず、良識をもって積極的にまちづくりに関わってほしいですね。

次の10年に欠かせないものは、対話による市民協働です。その中心にいるべきは、将来を担う若者でしょう。彼らの勢いある意見を取り入れ、上手に調整して積み上げていくことが、先住者である私たちの役目だと思います。

おおいししんや  
大石進哉 委員 (大草)  
Shinya Oishi



# 実行委員会

超えた話し合いをしています。今回は、大学生の森中委員と自治会長の大石委員に、島田市そして記念事業に対する思いを話していただきました。

みんなでひろく・しまだの明日／島田市の明るい未来に向けた取り組み  
これまでの10年のあゆみを基に、島田市の将来像「人と産業・文化の交流拠点 水と緑の健康都市 島田」の実現に向けて、次の事業に取り組んでいきます。

- ◎ 富士山静岡空港を生かしたまちづくりを進めていきます。
- ◎ 新東名高速道路「島田金谷インターチェンジ」周辺整備に向けて取り組んでいきます。
- ◎ 危機管理体制の強化を図ります。
- ◎ 次世代のための子育て施策を充実させます。
- ◎ 再生可能エネルギーの導入を促進します。
- ◎ 新市民病院建設に向けた取り組みを推進します。
- ◎ 川根小学校改築など、安全面を含めた教育環境を整備します。
- ◎ 協働のあゆみを加速させるための「自治基本条例」を制定します。
- ◎ 島田市の特性を活かした定住促進施策を充実させます。

## 10周年記念事業 (市民自主事業)

昨年度、市民団体などが主催する10周年を記念した事業の募集を行いました。選考の結果、次の7つのイベントに決定。皆さんもぜひ、ご参加ください。

◎ 「シマダ本」制作プロジェクト／「島田の魅力のな人」に焦点をあてた、地元で輝く人に会いに行き

もりなか しほ  
森中志帆 委員(竹下)

Shiho Morinaka



地元への社会貢献のきっかけを探しているとき、大学の教授から委員募集の話を聞き、手を挙げました。会議に参加してみると、諸先輩たちが故郷に対して持つ知識と熱意に、始めは圧倒されました。さすが、このまちを築いてきた住民として、プライドをお持ちなんですね。

私は、新茶の時期になるとワクワクします。もえぎ色の茶畑、茶摘みの姿、製茶の香り、茶工場の音。五感で感じられる全てが、このまちの誇りだと感じます。

空港が開港して、多くの外国人観光客がこの地を訪れ、新東名が開通して、金谷地区にも県外ナンバーの車が増えました。私自身も、訪れる皆さんに島田市のことを知ってもらいたいと思うようになりました。若い世代の人にも、この10周年記念事業に積極的に参加してほしいです。

島田市には、全国に誇れる素材が、たくさんあります。これからも、このまちに暮らす者として、幅広い世代と関わり合い、幅広い方法で情報を発信していきたいです。

## 対×談

# 島市新市誕生 10周年記念事業

「島市新市誕生10周年記念事業実行委員会」では、市長と20~70歳の男女10人が集まり、記念事業を協働で成功させるため、世代を

「たくなるガイドブックを作成。  
◎「キャンダルナイトinしまだ」キャンダルに炎に囲まれた中で、島田の和の文化を融合したイベントを実施。

◎「リアル野球盤」静岡県大会in島田／介護予防・世代間交流を促進する、島田生まれの「リアル野球盤」の静岡県大会を開催。

◎「10Colors FESTA in SHIMADA」市内のクリエイターの特技を集結し「癒しと美と健康に包まれた1日」を提案するフェスタを開催。

◎「ばらと炎のカーニバル／ばらの丘公園を会場に、昼の部は「ばら」、夜の部は「炎」をテーマにイベントを開催。

◎「茶の美」による地域活性化／「茶の実油」を活用し、付加価値を付けることで、お茶の新たな魅力を発掘し、産業の育成や地域活性化を図る。

◎「地蔵さんのいる商店街事業」本通二丁目に、目的別地蔵さんを配置して、来街客の定期的な来訪や、まちなか回遊を促進。

10周年記念事業フェイスブック「まだまだ島田!!」を開設しました。10周年の各種事業の詳細につきましては随時、フェイスブック、広報しまた、ホームページ、FM島田などで紹介していきます。

https://www.facebook.com/shimadashi10th.anniversary